

# ターゼナを 服用される方へ

本冊子では、特にご注意いただきたい副作用について解説しています。

- 1 骨髄抑制
- 2 間質性肺疾患
- 3 血栓塞栓症
- 4 二次性悪性腫瘍

また、下記にあてはまる方は、慎重に治療を進める必要があります。

## ● 中等度以上※の腎機能障害のある方

※推算糸球体ろ過値 (eGFR) : 60mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満

本冊子に記載した副作用は、ターゼナによる副作用のすべてではありません。  
このほかにも、**気になる症状が認められた場合には、  
担当医や看護師、薬剤師に相談してください。**

## 骨髄抑制

1

骨髄機能が抑制されると、次のような症状があらわれることがあります。場合によっては、輸血が必要になることがあります。

**貧血<sup>1)</sup>**：めまい、動悸、ふらつき、  
体がだるい、頭痛、耳鳴り、  
息切れ など

**感染症<sup>2)</sup>**：発熱、寒気、のどの痛み など

**出血<sup>3)</sup>**：手足に点状出血、あおあざ、  
鼻血、歯ぐきの出血、  
血が止まりにくい など



骨髄機能の状態を確認するため、血液検査を行います。  
担当医から指示された検査は必ず受けるようにしましょう。

## 間質性肺疾患

2

肺にある「肺胞(空気を取り入れる袋)」の壁が厚くなって、酸素を取りこみにくくなり、以下の症状がみられます。

**息切れ<sup>4)</sup>**：坂道や階段を登ったり、  
少し無理をしたりすると  
息切れがする

**息苦しさ<sup>4)</sup>**：安静時でも息苦しさを  
感じるようになってきた

**咳<sup>4)</sup>**：から咳(乾いた咳)、痰のでない咳

**発熱<sup>4)</sup>**



重症化を防ぐには、早期発見がとても大切です。

本冊子に記載した副作用は、ターゼナによる副作用のすべてではありません。  
上記のような症状のほかにも、気になる症状が認められた場合には、担当医や

3

## 血栓塞栓症

血管の中に血のかたまり(血栓)ができ、それにより血管がつまる病気です。血が届かなくなった部位や臓器は障害を受けます(壊死)。部位によって様々な症状があらわれます。

**肺塞栓症<sup>5)</sup>**：息切れ、胸部の痛み、胸がドキドキする など

**深部静脈血栓症<sup>5)</sup>**：手足の腫れ(痛みを伴う場合もある)、  
まひ、しびれ、  
発赤、熱感 など



4

## 二次性悪性腫瘍

骨髄異形成症候群(MDS)、急性骨髄性白血病(AML)などが報告されています<sup>6)</sup>。

**骨髄異形成症候群(MDS)**：血液細胞のうち、赤血球、白血球、血小板すべてが減る場合と、いずれかが減る場合がある

\*急性骨髄性白血病(AML)に移行することもあります。

**急性骨髄性白血病(AML)**：赤血球、白血球、血小板が減少する

\*進行が速く、急に症状があらわれることが多いです。

症状は「1. 骨髄抑制」を参照ください。

## ターゼナを服用する前にご確認いただきたいこと

### ● 中等度以上※の腎機能障害のある方<sup>7)</sup>

ターゼナの副作用が強くあらわれる可能性があります。

投与開始のお薬の量を減らすなど、慎重に治療を進める必要があるため、ターゼナによる治療を始める前に、担当医や看護師、薬剤師に申し出てください。



※推算糸球体ろ過値 (eGFR) : 60mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満

eGFRは、血清クレアチニン値、年齢、性別から推算するもので、腎臓の機能を表す値として使用されています。90mL/min/1.73m<sup>2</sup>以上は腎機能正常になります。

また、上記eGFRに身長と体重を含めて推算する個別化eGFR (mL/min) が用いられる場合もあります。

本剤に関する患者さんにご家族の皆様向けとして「患者向医薬品ガイド」が下記に掲載されております。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構ホームページ

<https://www.pmda.go.jp/index.html>

患者向医薬品ガイド

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/items-information/guide-for-patients/0001.html>

### 緊急連絡先

医療機関名

---

科名

---

担当医名

---

電話番号

---

- 1) 厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 薬剤性貧血 (令和3年4月改訂) (閲覧日: 2026年3月12日)
- 2) 厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 無顆粒球症 (令和4年2月改訂) (閲覧日: 2026年3月12日)
- 3) 厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 血小板減少症 (令和4年2月改訂) (閲覧日: 2026年3月12日)
- 4) 厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 間質性肺炎 (令和8年2月改訂) (閲覧日: 2026年3月12日)
- 5) 厚生労働省 重篤副作用疾患別対応マニュアル 血栓症 (令和3年4月改訂) (閲覧日: 2026年3月12日)
- 6) ターゼナ®カプセル 電子化された添付文書 15.1 臨床使用に基づく情報 2026年3月 (第2版、効能変更)
- 7) ターゼナ®カプセル 電子化された添付文書 9.2 腎機能障害患者 2026年3月 (第2版、効能変更)